



# 市政羅針盤

市長が自ら、市政運営の方針を分かりやすくお伝えします。 ㊟秘書課 ☎ 36-7117

## 今月のテーマ バス路線を考える — コミバスの「秘密」教えます —

コミュニティバス（以下、コミバス）の利用について「便数を増やしてほしい」「路線を見直してほしい」「もっと使い勝手が良い運行時刻に変えてほしい」などの意見が寄せられる一方で、「廃止したほうが良い」という意見も寄せられます。そこで今月は、コミバス路線の現状と新たな移動手段の構築について、皆様にご覧いただきたいと考えました。

平成15年の運行開始以来、平成27年までの12年間で約22億円以上の費用を費やしてきました。この間の利用者数累計は約451万人です。しかし、これを通勤や通学で毎日使う方のみだと仮定すると、767人しかいないことになります。月1回以上利用する方を推計すると、約3,400人という結果でした。コミバスに係る年間経費2.4億円をこの乗車数で割ると、一人当たりの運行経費は約7万600円となります。ゴミ処理に要する経費が市民一人当たり年間約1万4,300円ですので、バス運行には多額の経費が必要であることがわかります。また、バスを1往復増やすごとに年間最大630万円の経費が増えることとなります。バスを小型化すればよいという意見もありますが、主な経費は運転手の人件費ですので、必要経費はほとんど変わりません。



コミバスが朝夕の通勤・通学はもちろんのこと、高齢者や障害をお持ちの方にとっての通院や買い物などの移動手段として、大切な交通手段であることは確かです。し

かし、多様化する市民ニーズや全ての利用者の事情を考慮して、バス路線を維持していくことには限界があることを、ご理解いただけるとありがたいです。コミバスの見直しは、公共交通として将来にわたり持続可能なバス路線の維持を目的に行いました。今年度も、市民の皆様にとって使いやすいバス路線となるよう、運行時間の改善などに努めております。バス路線の改善だけではなく、ワゴン車の貸出しやガソリン代・保険代などの必要経費を行政が負担する地元住民（NPO等）主体の自主運行バスやデマンド型乗合タクシーなども、新たな移動手段としての選択肢となります。これからも、地域交通のあり方を地域の皆様と一緒に考え取り組んでまいりますので、ご協力をお願いします。

また最近では、自動車運転免許証返納者へのタクシー券やコミバスの乗車券などの助成についても、皆様からご要望をいただいております。市としては、従来から免許を持たない方に対して不公平感が生じないよう配慮しなければならないことや、仮に75歳以上の方に月1回片道1,000円（往復2,000円）のタクシー券の助成をした場合には4億円以上の費用が必要になるなど、解決しなければならない課題があります。そうした課題を市民の皆様と一緒に解決するために、生活安心課では「コミバスの秘密教えます」の出前講座を実施しております。どこへでも馳せ参じますので、ご活用ください。



## みんなのひろば

皆さんから寄せられた地域の「ニュース」「イベント」「声」などを紹介します。

**向** 谷元町では、毎年「こどもの日」に小学生やお年寄りなど、幅広い年齢層の皆さんを招待して「餅つき大会」を開催しています。

5月5日、国1高架下の「バイパス公園」には、多くの地域住民が集合。町内の「親和会」「ふれあいクラブ」の会員は、子どもたちに米研ぎからきなこづくりまでを、丁寧に指導してくれました。また今年も、染谷市長をお招きすることができました。杵つきと合いの手で一汗かいた後は、

つきたてのお餅を全員でおいしくいただき、楽しい1日を過ごすことができました。これからも、住民同士の親睦が図れる機会を、大切にしていこうと思います。（向谷元町自治会長 伊藤治男さん）

